

主な内容

1. 大気・水質・土壌、環境規制厳格化の背景とは？

- 中国環境法制度概要、中国独特の環境法規制（重点監視企業の指定と必要な対応）
- 第14次五か年計画（2021～2025年）における環境政策（大気・水質・土壌・廃棄物・カーボンニュートラル）の位置付け
- 河川流域の環境保全の厳格化、土壌汚染が企業経営に及ぼすインパクト

2. 中国進出企業が取り組むべき土壌対応とは？

- 土壌汚染防治法と調査契機、法で義務付けられた調査修復の手順、行政対応
- 土壌汚染調査対策、移転時撤退時の事例、土壌重点監視企業を取り巻く規制動向

講師紹介



渡辺 英喜（わたなべ ひでき）

株式会社エンバイオ・エンジニアリング 海外事業部 プリンシパル

これまでにクロスボーダーM&A案件を中心とした海外用地の環境調査（中国を含むアジア圏の他、ベルギー、フランス、ドイツ、アメリカ、メキシコ等）を経験。

JIS Q/ISO 9001（品質）、JIS Q/ISO 14001（環境）及びJIS Q/ISO 45001（労働安全衛生）審査員補。

なぜ今中国の工場で 土壌汚染対応が重要なのか？

12月1日
14:00-15:00
日本語セミナー

対象者

企業管理者、関連従業員など

参加方法

WeChatで右のQRコードをスキャンしてお申し込みください。

申込期限：11月30日12:00時；会議情報送付時間：11月30日午後。

セミナーは「騰訊会議」を使って開催しますので、事前にインストールしてください。

